

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		国民年金事務費 [国民年金事業]									
予算科目	款 3	民生費	項 4	国民年金費	目 1	国民年金費	事業番号	2			
事業の種別		☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) ☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの									
担当部署・課長名		保険年金			課	高齢者医療年金		係	課長名		岩野 秀夫
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		2 - 5	
【施策名】 社会保障の充実								総合計画書(ページ)		63	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	国民年金被保険者				国民年金被保険者数						
	→										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
国民年金制度の周知、啓発、相談等を行い、市民の年金受給権を確保することが、安心できる市民生活につながる。				被保険者一人あたりの届出件数及び相談件数							
→											
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
国民年金法に基づく、法定受託事務(資格取得・資格喪失・種別変更受付、法定免除・申請免除・納付猶予・学生納付特例の受付、継続免除・未納者対策等所得情報提供、国民年金裁定請求の受付、死亡一時金・未支給年金請求の受付)として年金事務所への進達。協力・連携事務(窓口・電話による年金相談、口座振替・前納の促進、市報・ホームページによる制度周知啓発、その他)				年金事務所への進達件数及び国民年金協力連携事務件数							
→											
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標			
	対象指標	①の数値	人	17,535	17,195	16,989					
	成果指標	②の数値	件	0.5	0.4	0.4					
	目 標	②の目標値									
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)											
活動指標		③の数値	件	10,043	8,275	6,061					
3 経費	事業費(実績)		円	5,601,184	7,121,074	10,562,865	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	0	0	0					
		特定財源	円	5,601,184	7,121,074	10,562,865					
	(うち受益者負担)		円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	2.0	2.0	2.0					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	16,488,000	16,620,000	16,760,000					
職員人件費(再任用)		円	0	0	0						
事業費+人件費		円	22,089,184	23,741,074	27,322,865						
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く										
	国民年金と年金生活者支援給付金の両制度において、制度改正が頻繁に行われる。										
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く										
	関係機関と調整を図り、事務が円滑に執行できるよう努めていく。										